

授業科目表

「2016大学院要項から」

法学専攻（修士課程）

(1) 授業科目表

法学研究科法学専攻修士課程における授業科目（講義, 演習）と単位数は, 次のとおりとする。

講義及び演習は, 1 週 1 時間 15 週の授業をもって 1 単位とする。

研究演習（専修科目）は, 1～2 年次にわたって履修する。

講義科目は, 1・2 年次に履修する。

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
企業 関係 法 科 目	企業法研究	※ 美濃羽正康	4
	企業取引法研究	川上博英	2
	企業法務研究	開講せず	4
	民法研究	早川結人	4
	消費者法研究	※ 田口義明	4
	知的財産法研究	※ 辻田芳幸	4
	経済法研究	開講せず	4
	家族法研究	近藤久雄	2
	民事訴訟法研究	張瑞輝	2
	国際取引法研究	開講せず	4
	労働法研究	榊原嘉明	4

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
公 法 関 係 法 科 目	憲法研究	宍戸圭介	4
	租税法研究Ⅰ	開講せず	4
	租税法研究Ⅱ	※ 関岡誠一	4
	租税法研究Ⅲ	※ 山田麻未	4
	刑事法研究	清水祐樹	4
	国際法研究	※ 富岡仁	4
	国際経済法研究	佐分晴夫	4
	国際政治学研究	佐々木雄太	4
	行政法研究	門松美恵	4
	情報法研究	萩原聡央	2
	租税法基礎研究	服部由美	2
国際租税法研究	奥川哲也	2	

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
公 法 関 係 法 科 目	組織再編税制研究	村 上 正 城	2
	法人税法研究	岸 野 悦 朗	2
	所得税法研究	金 森 文 質	2
	資産税法研究	浅 野 洋	2
	消費税法研究	大 脇 光 明	2
	租税争訟法研究	團 野 正 浩	2

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
研 究 演 習 科 目	企業法研究	※ 美 濃 羽 正 康	8
	消費者法研究	※ 田 口 義 明	8
	知的財産法研究	※ 辻 田 芳 幸	8
	租税法研究	※ 渡 辺 基 成	8
		※ 関 岡 誠 一	
		※ 山 田 麻 未	
		石 川 祥 浩	
	奥 川 徹 也	金 森 文 質	8
杉 浦 勝 美			
服 部 由 美			
富 岡 仁			
国際法研究	※ 富 岡 仁	8	
国際経済法研究	※ 佐 分 晴 夫	8	
国際政治学研究	※ 佐 々 木 雄 太	8	

※専修科目担当者

(2) 履修方法

- 1) 研究演習科目のうち1科目を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 研究演習科目を担当する教授を「指導教授」とし、講義科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を浮ける。
- 3) 修士課程の修了の要件
 - ① 修士の学位は、修士課程に原則として2年以上在学して、授業科目について30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与する。その30単位の履修方法は次のとおりとする。

企業法学専攻（博士後期課程）

(1) 授業科目表

法学研究科企業法学専攻博士後期課程における授業科目は、次のとおりとする。

法学研究科企業法学専攻博士後期課程は、単位制を採らない。

授業科目名	担当者名
企業法研究	※美濃羽正康
民法研究	開講せず
消費者法研究	※田口義明
知的財産法研究	※辻田芳幸
国際取引法研究	開講せず
経済法研究	開講せず
租税法研究Ⅰ	※渡辺基成
租税法研究Ⅱ	※関岡誠一
国際法研究	※富岡仁
国際経済法研究	※佐分晴夫
国際政治学研究	※佐々木雄太

※専修科目担当者

(2) 履修方法

- 1) 上記の授業科目のうち1科目（研究指導）を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 博士の学位を取得しようとする者は、本学大学院の博士後期課程に3年以上在学し、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、修業年限に関しては、特に優れた研究業績をあげた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 3) 専修科目を担当する教授を「指導教授」とし、講義科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。
- 4) 履修登録について

学生は、履修しようとする授業科目を記載した履修願を指定の期日までに提出し、研究科長の許可を受けなければならない。

会計学専攻（博士前期課程）

(1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士前期課程における授業科目（講義，演習）と単位数は，次のとおりとする。

講義及び演習は，1週1時間15週の授業をもって1単位とする。

会計学研究科（専修科目）は，1～2年次にわたって履修する。

講義科目は，1・2年次に履修する。

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
基幹科目	会計学基本研究	開講せず	4
	財務会計論研究	佐藤豊和	4
	管理会計論研究	中垣昇	4
	財務諸表論研究	開講せず	4
	現代会計論研究	荒鹿善之	4
	税務会計研究	※井藤哉	4
	企業法研究	開講せず	4
	企業法会計論研究	※佐藤敏昭	4
展開科目	管理会計特殊研究	宮城厚志	4
	国際会計基準特殊研究	開講せず	4
	財務諸表論特殊研究	友杉芳正	4
	監査論特殊研究	友杉芳正	4
	監査役監査論特殊研究	佐藤敏昭	2
	企業会計法特殊研究	尾崎安央	2
	財政学研究	※片山和希	4
	会計基準研究	開講せず	4
関連科目	意思決定会計論研究	開講せず	4
	経営財務論研究	中垣昇	4
	金融論研究	※峯岸信哉	4
	経営管理論研究	開講せず	4
	経営戦略論研究	※萩原俊彦	4
	国際経済論研究	※畑佐伸英	4
	経済政策論研究	※榎平龍宏	4
	経営学原理研究	開講せず	4
研究演習科目	証券市場論研究	野村重明	4
	中小企業論研究	野松敏雄	4
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	8

※専修科目担当者

修了要件：会計学特別研究（研究指導を含む）8単位を含む30単位以上を修得し、所定の研究指導を受け、修士論文又は特定の課題研究を提出の後、その審査及び試験に合格すること。

(2) 履修方法

- 1) 会計学特別研究のうち1科目を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 専修科目を担当する教授を「指導教授」とし、講義科目の選択、論文又は課題研究の作成、研究一般についての指導を受ける。

なお、修士論文を提出する者は、1年次の年度始めに指導教授に研究計画書を提出しなければならない。

- 3) 専修科目(会計学特別研究)は、別表のスケジュールにしたがって1年次から2年次にわたって進められる。
- 4) 博士前期課程の修了の要件

① 修士の学位は、博士前期課程に原則として2年以上在学して、授業科目について30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与する。その30単位の履修方法は次のとおりとする。

学年	科目	研究演習（必修）	講義
1・2年次		8単位	22単位以上

② 特定の課題についての研究（以下、「リサーチ・ペーパー」という。）を選択した場合には、博士前期課程に原則として2年以上在学して、授業科目について38単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、リサーチ・ペーパーの審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。その38単位の履修方法は次のとおりとする。

学年	科目	研究演習（必修）	講義
1・2年次		8単位	30単位以上

また、以下の科目のうち、1科目を必ず受講しなければならない。

【会計コース】 「企業法会計論研究」「税務会計研究」

【経営経済コース】 「経営戦略論研究」「財政学研究」「金融論研究」

「国際経済論研究」「経済政策論研究」

- 5) 演習の単位を修得した者が、修士論文作成のために引き続き在学し当該指導教授の指導を受ける場合は、学年の始めに「修士論文」の登録をすることとする。リサーチ・ペーパーの場合も同様とする。

6) 履修登録について

① 学生は、履修しようとする授業科目を記載した履修願いを指定の期日までに提出し、研究科長の許可を受けなければならない。

② [単位互換]

ア. 会計学研究科会計学専攻博士前期課程で開講される講義科目（演習科目を除く）を履修して修得した単位を、8単位を超えない範囲で、本研究科における専修科目以外の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

イ. リサーチ・ペーパーの場合にあつては、会計学研究科会計学専攻博士前期課程及び学部で開講される講義科目（演習科目を除く）を履修して修得した単位を、12単位を超えない

④ 研究科長は、研究科委員会の学位の授与についての判定を学長に報告しなければならない。

4) 学位の授与

- ① 学長は、研究科長の報告に基づいて学位を授与する。
- ② 修士の学位記は、学位規程様式第1及び様式第2による。

会計学専攻（博士後期課程）

(1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士後期課程における授業科目は、次のとおりとする。

会計学特別研究（専修科目）は、1～3年次にわたって履修する。

講義科目は、1・2・3年次に履修する。

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
専門 基幹 科目	国際財務会計研究	開 講 せ ず	2
	財務諸表論研究	開 講 せ ず	2
	管理会計研究	中 垣 昇	2
	税務会計研究	開 講 せ ず	2
	企業法研究	開 講 せ ず	2
専門 展 開 科 目	会計学原理	開 講 せ ず	2
	財務会計理論研究	開 講 せ ず	2
	監査研究	友 杉 芳 正	2
	企業法会計研究	※ 佐 藤 敏 昭	2
	財政学研究	※ 片 山 和 希	2
	租税法研究	開 講 せ ず	2
関 連 科 目	経営財務論研究	中 垣 昇	2
	金融論研究	※ 峰 岸 信 哉	2
	経営管理論研究	開 講 せ ず	2
	経営戦略論研究	※ 萩 原 俊 彦	2
	国際経済論研究	※ 畑 佐 伸 英	2
	経済政策論研究	※ 槇 平 龍 宏	2
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	12

※専修科目担当者

修了要件：会計学特別研究（研究指導を含む。）12単位を含む20単位を修得するとともに、所定の研究指導を受け、博士論文を提出後、試験に合格すること。

(2) 履修方法

- 1) 会計学特別研究のうち1科目を専修科目として必ず修得しなければならない。
- 2) 博士の学位を取得しようとする者は、本学大学院の博士後期課程に3年以上在学し、

博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、修業年限に関しては、特に優れた研究業績をあげた者に限り、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

3) 専修科目を担当する教授を「指導教授」とし、講義科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。

4) 履修登録について

学生は、履修しようとする授業科目を記載した履修願を指定の期日までに提出し、研究科長の許可を受けなければならない。

(3) 授 業

1) 授業時間帯

①月曜日から金曜日

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
9:30	11:10	13:20	15:00	18:00	19:40
∪	∪	∪	∪	∪	∪
11:00	12:40	14:50	16:30	19:30	21:10

②土曜日

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
9:30	11:10	13:20	15:00	16:40	18:20
∪	∪	∪	∪	∪	∪
11:00	12:40	14:50	16:30	18:10	19:50

2) 休講・補講

① 登校時には、休講掲示板にて休講の確認をすること。

② 補講は、通常集中講義・補講期間に実施される。期間外に実施される場合は、その都度掲示にて知らせる。

3) 交通機関のストライキ（全面運休）及び台風時等における授業（試験を含む）の取扱いについて

名鉄ストのとき

（本校）

① 午前7時までにストが解除された場合は、平常どおり授業を行う。

② 午前8時までにストが解除された場合は、第2時限より授業を行う。

③ 午前10時までにストが解除された場合は、第3時限より授業を行う。

④ 午前10時現在、なおストが解除されていない場合には、その日の授業は行わない。

（サテライトキャンパス）

平常どおり授業を行う。

※名鉄以外の公共交通機関ストのとき

平常どおり授業を行う。

〔幼児保育学専攻〕

(1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科幼児保育学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表－1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表－1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目名	単位数		学校種等		授業形態	担当者名
		必	選	小	幼		
基礎科目	幼児保育学研究	2			○	講義	飯田幸恵
	教育学研究		2	○	○	講義	伊藤博美
基本科目	幼児教育学研究		2		○	講義	伊藤博美
	保育内容方法研究		2		○	講義	伊藤博美
	幼児理解と子育て支援		2		○	講義	伊藤博美
	表現文化研究Ⅰ		2	○	○	講義	塚本敏浩
	表現文化研究Ⅱ		2	○	○	講義	加藤 昇
	障害児保育研究		2		○	講義	楯 誠
	子ども福祉学研究		2		○	講義	星野政明
	社会福祉学研究		2		○	講義	星野政明
	保育ソーシャルワーク研究		2		○	講義	増田樹郎
	家族援助研究		2		○	講義	家接哲次
	教育心理学研究		2	○	○	講義	宮澤秀次・楯 誠
	発達心理学研究		2	○	○	講義	宮沢秀次
	臨床心理学研究		2	○	○	講義	家接哲次
	発達・教育評価研究		2	○	○	講義	楯 誠
	学校カウンセリング研究		2	○	○	講義	楯 誠・家接哲次
	大脳生理学研究		2	○	○	講義	岩瀬 敏
	子ども精神医学研究		2	○	○	講義	吉川 徹
	教育課程・方法研究		2	○	○	講義	田中秀佳
生徒指導研究		2	○	○	講義	宮沢秀次	
教科教育法研究（国語）		2	○		講義	加藤 昇	
教科教育法研究（算数）		2	○		講義	倉地 要	

科目区分	授 業 科 目 名	単位数		学校種等		授業形態	担 当 者 名
		必	選	小	幼		
基本科目	教科教育法研究（理科）		2	○		講義	日比野博
	教科教育法研究（社会）		2	○		講義	片田保彦
	教科教育法研究（図画工作）		2	○		講義	塚本敏浩
	教科教育法研究（音楽）		2	○		講義	秋田 郁
	教科教育法研究（体育）		2	○		講義	矢野 正
実践科目	臨床事例研究		2		○	演習	楯 誠
	保育学フィールド研究	選択必修	2		○	実験・実習	宮沢秀次, 伊藤博美
	小学校実践研究		2	○		実験・実習	宮沢秀次, 伊藤博美
幼児保育学特別研究	8			○	○	演習	星野政明, 宮沢秀次 伊藤博美, 楯 誠

3) 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1 単位とする。また、実験・実習及び実技は、30 時間から 45 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1 単位とする。

(2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として2 年以上在学して、別表-2 の修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表-2 修了要件及び履修方法

	必修	選択	修了に必要な単位	備 考	
修了要件	基礎科目	2	—	2 単位	
	基本科目	—	18	18 単位以上	
	実践科目	—	2	2 単位	3 科目から1 科目を選択必修
	研究科目	8	—	8 単位	
	合 計	10	20	30 単位以上	
履修方法	修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。				

〔栄養管理学専攻〕

(1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科栄養管理学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表-1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表-1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目名	授業形態	担当者名	単位数	
				必修	選択
基礎科目	栄養管理研究	講義	鈴木康夫, 堀尾拓之, 李 温九, 若林和夫, 早川麻理子, 古市卓也, 上延麻耶, 太田和徳	2	
基本科目	公衆衛生学研究	講義	若林和夫		2
	栄養生化学研究	講義	鈴木康夫, 古市卓也		2
	基礎医学研究	講義	山下和雄		2
	臨床医学研究	講義	黒川淳一		2
	栄養生理学研究	講義	古市卓也, 太田和徳		2
	食品機能研究	講義	李 温九, 太田和徳		2
	食品衛生研究	講義	堀尾拓之		2
	調理学研究	講義	李 温九		2
	栄養学研究1	講義	鈴木康夫		2
	栄養学研究2	講義	堀尾拓之		2
	栄養教育学研究	講義	堀尾拓之, 上延麻耶, 鈴木康夫, 早川麻理子, 李 温九		2
	臨床栄養学研究	講義	早川麻理子		2
	公衆栄養学研究	講義	若林和夫		2
	給食経営管理研究	講義	上延麻耶		2
実践科目	栄養管理実践研究	演習	若林和夫, 上延麻耶, 早川麻理子		2
	栄養管理実験研究	実験 実習	鈴木康夫, 堀尾拓之, 李 温九, 太田和徳, 古市卓也		2
研究科目	栄養管理特別研究	演習	鈴木康夫, 堀尾拓之, 李 温九, 若林和夫	8	
関教する職科目に	食育実践特論	講義	上延麻耶		2
	学校栄養教育特論	講義	早川麻理子, 倉橋伸子		2
	学校栄養教育論演習	講義	早川麻理子, 倉橋伸子		2

3) 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって 1 単位とする。また、実験・実習及び実技は、30 時間から 45 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として 2 年以上在学して、別表-2 の修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて 30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表-2 修了要件及び履修方法

	必修	選択	修了に必要な単位	備 考	
修了要件	基礎科目	2	—	2 単位	
	基本科目	—	18	18 単位以上	
	実践科目	—	2	2 単位	2 科目から 1 科目を選択必修
	研究科目	8	—	8 単位	
	合 計	10	20	30 単位以上	
履修方法	修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて 30 単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。				

2) 研究科目を担当する教員を「指導教員」とし、授業科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。

3) 研究科目（栄養管理特別研究）は、別表-3（修士論文を履修・提出する場合）及び別表-4（課題研究を履修・提出する場合）のスケジュールにしたがって 1 年次から 2 年次にわたって進められる。